

伊野支所管内より



青壮年部でもっと 交流する場を作りたい!

みずた あきら
水田 亮さん(44)

ホテルのフロントで10年勤めた後、8代続く農業を継いだ亮さん。父と母と3人で、ショウガなどを栽培しています。

最近では判断を任される場面が増え、防除の工夫がうまくいったりして農業が楽しくなってきたところですよ。

青壮年部伊野支部の部長にも就任し「ゴルフコンペを企画し、各地区の青壮年部と交流したい」と爽やかな笑顔を見せてくれました。

越知支所管内より



人懐っこいクウちゃんと 天真爛漫な天善くん

クウちゃん(オス・トイプードル・12歳)

飼い主: 片岡 重彦さん

あけこ
明子さん(妻)

てんぜん
天善くん(ひ孫)

玄関を開けたらクウちゃんが全力でお出迎え♪ 超ベリーショートカットのトイプードルちゃんです。ベリーショートは重彦さんの好みです。

クウちゃんはキャベツやリンゴが大好き! 1個500円のリンゴでも、重彦さんはクウちゃんのために買ってきます♡ キャベツは朝昼晩食べて、若々しさキープです!

クウちゃんが大好きなひ孫の天善くんも一緒にパチリ♪

仁淀川
地区

から こんにちには 今月の〇〇 気になる人

戸波支所管内より



仕事も登山も二人三脚 二人で一人前

やの のぼる
矢野 昇さん (70)

のりこ
典子さん(69)

鉄工所と農業、二足のわらじで駆け抜けたうん十年。子育てが落ち着いた40代後半から、夫婦で登山を始めました。

約20年かけて国内3,000m峰21座のうち、20座を登頂、残る1座は御嶽山です。

登山は2人で登ることもあれば、気心知れた地域の仲間たちと一緒にの時も。「登山の時の写真をみて思い出話をするのが、今の楽しみ」と笑顔。御嶽山、登頂できますように!



平成17年には、奥穂高岳に14名で登りました。マイクロバスを借りて昇さんが運転していきました!

池川支所管内より



地キビ入りのコンニャクが 好評です

たけもと りょうこ
竹本 良子さん(68)

コンニャク作り歴40年以上の良子さん。良さんは地キビを栽培して、地キビ入りコンニャクを作っています。手箕いっぱい、黄金色の地キビは天日干し中です。

地キビ入りコンニャクはらっきょう酢につけたり、味噌で食べたり。炒め物や唐揚げもオススメとのこと。

良さんの地キビ入りコンニャクは、いけがわ439交流館などで好評販売中です♡

できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！

5 営農 コロナに負けない！ 日高支所ハウス園芸部総会



総会は三密を避けて行われた

日高支所ハウス園芸部会は9月上旬、日高村で総会を開きました。部員や関係者ら30人が参加しました。20園芸年度産の高糖度トマトは出荷量が減ったものの、単価が2%増となり、例年並みで推移。21園芸年度はこれまで以上に出荷予測の精度を上げ、秀品率向上を目指すことを目標としています。同部会の正岡知也部会長は「依然として厳しい状況が続くが、産地を守り維持するために努力していきたい」と話しました。

3 組織活動 巻きずしコンテストに応募！ 女性部コスモス地区



たくさんのオリジナル巻きずしを試作

女性部コスモス地区は『家の光』9月号の「巻きずしコンテスト」に応募するため、各支部でオリジナル巻きずしを試作しています。伊野支部ではリュウキュウで翡翠色の巻きずしを、吾北支部ではイタドリをふんだんに使った巻きずしを試作。地域色のある巻きずしが生まれました。コスモス地区内で選抜し、コンテストに応募する予定です。コンテストの結果発表は令和3年8月を予定しています。



出前授業で管内の特産品を紹介する青木さん

1 組織活動 戸波中に出前授業 & 中学生が生産者にインタビュー

青壮年部戸波支部は9月、土佐市立戸波中学校で出前授業を行いました。1年生9人に管内の特産品を紹介しました。同支部の青木大典さんがシヨウガの栽培方法や歴史、「土佐文旦」の生産状況などを紹介。また、シヨウガを生食で食べるのは世界的には珍しいことや、「土佐文旦」が急斜面で作られるのは美味しい実にするためなどと伝えました。生徒たちは「シヨウガの病気は人にうつるのか」「日本に文旦はいつからあるのか」などと質問。青木さんは「生徒らの質問は、今の情勢を反映していたり、中学生らしい素朴な内容もあり、興味深かった。当たり前に思っていたことや根本的な疑問を投げかけてきてくれて、自身にとっても刺激になった」と振り返りました。また、後日には戸波中学生が授業の一環で、青木さんにインタビューを実施。生徒らは出前授業をふまえ、後継者問題などを質問しました。同中学校の楠瀬富美教諭は「協力し合うことの重要さを学べた」と話しました。

6 組織活動 鎌を使って稲刈り 青壮年部高石支部



一生懸命に稲を刈る児童ら

青壮年部高石支部は青少年育成市民会議の高石支部と、9月上旬に土佐市立高石小学校で稲刈りを行いました。5年生の児童7人は鎌を使って稲刈りを体験。参加した児童は「初めての体験で楽しかった」「鎌で切るときが入った」と笑顔を見せました。刈り取った稲は青壮年部で脱穀や乾燥などを行い、同学校の家庭科や防災学習で利用する他、土佐市内の子ども食堂へ寄付したりする予定です。

4 営農 ニーズ対応に加速 荒茶研修会



荒茶の外観を確かめる参加者

営農販売事業本部は高知市で、5回目の荒茶研修会を開催。生産者や茶業者ら45人が参加しました。参加者はコロナ禍への対応や高知産荒茶の付加価値向上について意識を高めたほか、荒茶96点の茶葉の色合いや香りを入念にチェックし、2020年産荒茶の出来を共有しました。同事業本部の西森教彦さんは「嗜好の多様化に対応し、確実に売れるしくみ作りが必要。また、加工場を集約し効率を上げたい」と話しました。



ピーマンの状態を観察する寺田営農指導員(右)と北川さん

2 地域貢献 農業大学のインターン受け入れ

とさし営農経済センターは9月15日から3日間、高知県立農業大学の学生2人のインターンシップを受け入れました。学生らは購買や営農指導員の業務を体験しました。同校でピーマンを栽培している北川創さんは、同センターでピーマンを担当している寺田広貴営農指導員の巡回業務に同行。寺田営農指導員は定植後のピーマンの生育や病害虫の発生などを確認して回り、必要に応じて農家へ農薬の散布を勧めました。北川さんは「たくさんのハウスを見て回れた。自分が育てている方法と違うのでとても興味深かった。JAの仕事はとても充実していると感じた」と話しました。対応した寺田営農指導員は「JAを知ってもらえてうれし。農業に興味を持ってきてくれるので、このまま農業関係の仕事についてももらいたい」と期待していました。

えいのう〜



あなたもチャレンジ! 家庭菜園

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

野菜の保存・貯蔵 温度・湿度に配慮して

園芸研究家 ● 成松次郎

家庭菜園で取れた野菜を上手に保存しましょう。土地の気候に合った方法で貯蔵すれば、野菜を長く利用することができま

「屋内での保存」

温度変化の少ない納屋や冷暗所で、乾燥を防ぐことがポイントです。キャベツ、ハクサイは水分の蒸発を防ぐため新聞紙に包み、段ボール箱に入れておきます。ダイコン、ニンジン

は土を付けたまま葉を切り落とし、深さ20〜30cmの穴に斜めに寝かせておき、土を掛けます(図3)。

「畑や庭での保存」

キャベツ、ハクサイは、株をびったり並べ、わらや落ち葉で覆い、その上にむしろを掛けておきます。雪の多い地方では、ビニールなどで屋根掛けします(図2)。

サトイモは、温暖地では畑から掘り上げなくても、土を厚く掛けておけば、十分に冬越しができます。

「土中貯蔵」

ダイコン、ニンジンは土を付けたまま葉を切り落とし、深さ20〜30cmの穴に斜めに寝かせておき、土を掛けます(図3)。サトイモ、サツマイモは、排水の良い所に深さ60cm程度の穴を掘ります。サトイモでは芋を崩さないように逆さにいけます。サツマイモは成り首を付けたまま埋め、30cmくらいに盛り土して、上にビニールシートで雨よけします(図4)。シヨウガの貯蔵温度は13〜15度と他の野菜より高いので土中深くにい

けて乾かしてから、発泡スチロールの箱に入れておきます。冷蔵庫で保存する場合は、ホウレンソウなどの葉物はポリ袋

図1 冷蔵庫での保存

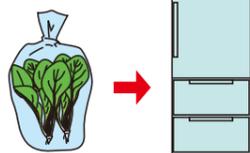


図2 畑や庭での保存

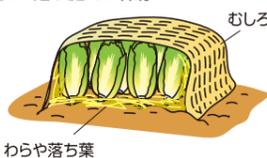
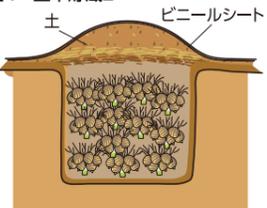


図3 土中貯蔵1



図4 土中貯蔵2



ハウスの管理について



○整枝・誘引

垣根仕立ての場合、主枝は畝上1.0〜1.1mになれば摘芯または捻枝をします。その後発生した側枝も4〜5節で摘芯します。12月下旬頃までには第一分枝以下の側枝(わき芽)、ふところ枝を整理し通風・採光をしましょう。側枝はねかせるか、草勢が強い場合は4〜5節で摘芯しましょう。

○かん水

収穫量、天候、土壌条件により2〜3日に1回を目安に行いましょう。12月になると3〜4日に1回を目安に天候、着果量を考慮して行いましょう。

○追肥

1回に窒素成分量で0.7kg/10aを7日毎程度に液肥として施用します。置き肥の場合は1回の窒素成分量で2.0〜2.5kg/10aまでとし、ガス書を出さないよう施用量に注意しましょう。

○温度管理

午前中は26〜28℃、午後は24〜25℃、夜間は20〜22℃で管理します。11月中旬以降に、さらに冷え込むことを見越して、加温機・保温資材の準備を行いま

温室(ハウス)の保温性の向上と対策

ハウスに展開しているフィルムの採光性を向上させると、温室内の気温・地上昇をもたらし、省エネルギー化につながります。

一方、温室内の保温性を向上させる被覆資材の多層化は、栽培作物の光合成に必要な太陽光の透過量を減少させるため、採光条件を点検し、必要以上に透過量を落とさないように留意しましょう。

1. 被覆資材の汚れ等の確認

温室内の採光性を確保するため、被覆資材に汚れ等が付着していないか確認しましょう。汚れ等が付着していた場合、被覆資材を洗浄しましょう。その際、ブラシ等を使うと被覆資材の表面に傷がついて逆に汚れやすくなるので、圧力をかけた水で洗浄しましょう。

2. 採光を妨げる障害物等の確認

温室内外に採光を妨げるような資材や機材がないか確認しましょう。

当面必要のないものは採光に影響のない場所に移動しましょう。

3. 内張カーテンの破れや隙間の点検

内張カーテンの保温効果を最大限に発揮させるには、カーテンのつなぎ目や裾部に破れ・隙間ができないよう十分に注意する必要があります。

4. 出入口付近や妻面の隙間

開閉により外気が侵入しやすい出入口付近や温室の妻面の隙間を点検し、内張カーテンの多層化等により高い保温性を確保しましょう。

5. カーテン裾部の隙間

カーテンの裾部が短すぎることによる隙間、暖房時にカーテンがはためくことによる隙間に注意が必要であり、さらに、夜間は冷気が下降してカーテンが温室内側に膨らみ、温室内に冷気が侵入しがちです。

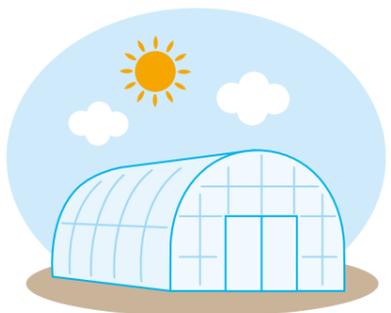
カーテン裾部を長めに確保し、留め具や土などの重しを乗せるなどし

て固定することにより保温性を確保しましょう。

6. 内張カーテンの開閉

内張カーテンを自動開閉させる際は、加温シーズン開始前に開閉させて隙間の点検を行いましょう。基本的に、温室内が適温に達した後に開放し、温室内の温度が下がらないように閉めましょう。

また、開閉をタイマーで設定している場合は、その時期の日長(日の出、日の入り時刻)に応じて開閉時間の設定を調節しましょう。



ためしてみよう!! イチオシ商品

エーコープ 塩こうじパウダー(だし入り)

Aコープ・直販店で取扱中!
(店舗によっては取り扱っていない場合もございます。ご了承ください)

プームを巻き起こした塩こうじ。お野菜やお肉がおいしくなることは知っているけれど、管理が難しく使わなくなった方も多いのでは? エーコープの塩こうじパウダーは、粉末タイプ。加熱していないのでこうじが生きていて、酵素の力で食材の旨みを引き出します。小袋1つで鶏モモ肉1枚にしっかり味がつきますよ。お魚に漬けてもおいしく出来上がります♪

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

「キリン氷結土佐文旦」が気になって先日購入して飲みました。一口飲むたびに文旦の香りとスッカリした味が気に入りました。おいしかったです。

(佐川支所管内・Mさん60歳)

「キリン氷結土佐文旦」をお世話になったおじいちゃんにあげました。

(土佐市支所管内・Nさん80歳)

「キリン氷結土佐文旦」早速飲んでみました。美味しくてすっかりヤミツキです!!

(伊野支所管内・Nさん70歳)

「キリン氷結土佐文旦」毎日一本飲んでます！うまい！最高！

(新居支所管内・Tさん71歳)

▼たくさんの方に飲んでいただいているようで、うれしいお便りがたくさん届きました！私ももちろん、箱買いして飲んでおります♡みなさん、美味しいからって、飲みやすいからって、飲みすぎには注意ですよ！(笑)

少しですが、サツマイモを作っています。いつも食べきれず、子どもたちにも送っても残ってしまいます。今度はグラタンに挑戦してみます！

(土佐市支所管内・Yさん71歳)

「作ってみんかえく食べてみんかえく」はずっと切抜ファイルに残し、気に入ったものは繰り返し作っています。今回の西山さんときのグラタンも作ってみようと思います。

(土佐市支所管内・Mさん64歳)

▼サツマイモのグラタンは目新しい感じがしますよね！材料のナツメグは香りづけ、生クリームはコクを出すためなので、なくても大丈夫ですよ。生クリームはコーヒークリープとかコーヒーフレッシュでも代用できると思いますので、お気軽にチャレンジしてみてください★切り抜いて、つづつてくれているMさん、ありがとうございます♡嬉しいですよ♡

良かった記事は断トツに「カイゼン」ですね！内容はもちろん、記事自体がみやすいレイアウトになっていて内容がすすると入ってくる感覚でした。職場にも家庭にも取り入れたい意識ですね。

(伊野支所管内・Kさん42歳)

どこの職場でもカイゼン活動は大事だと思えます。キュウリの作業工程を見て、効率が良くなっているのにびっくりしました。

(土佐市支所管内・Nさん64歳)

▼1分1秒の無駄が、年間で…と思うと、職場でも家庭でも効率的にというのは、本当に感じる次第です。仁淀川地区では日高支所のトマト選果場でカイゼンに取り組み始めましたので、こちらの続報もどうぞ期待です☆

「農業について」は、いつも病気になるから農薬を使っていました。安全性について読み大変役に立ち、これからは防除のために先に使うことにしました。

(伊野支所管内・Tさん69歳)

▼農薬を正しく理解し、正しく使えば安全に利用することが出来ます。家庭菜園でも、要所所で利用されると、収穫が増えて楽しみも倍増すると思えますので、お近くのJAで気軽に相談してみてくださいね。

お米のチカラ。を読んで、「豚の甘みって何？」と娘が聞いてきました。パパは娘を連れてみどり市に行くことに決めました。パパはこうぐりに感謝していると思います。

(佐川支所管内・Oさん52歳)

▼娘さん、ファインプレーですね！無事にお弁当は手に入れられたのでしょうか？優しいお父さんに感謝です。

妻は2月12日から入院。只今一人暮らしです。病院はコロナウイルスの関係で面会謝絶。半年近く会っていません。

(吾北支所管内・Oさん95歳)

▼半年……長いですね…奥様が退院される時、元氣にお迎えしないとですね。こうぐりで、気分転換できれば幸いです。



コロナ禍の中で新しい形、女性部嶺北地区のがんばりに励まされました。立ち止まってダメ！前を向いて野菜の種を蒔きました。おいしい秋冬野菜ができますように!!

(斗賀野支所管内・Nさん72歳)

▼これからはコロナと隣り合わせで生活する時代になりそうですね。コロナを恐れ過ぎたら、人間らしい営みが失われるように思います。正しく対策して、できるだけ日常をはやく取り戻したいですね！前を向いて進みましょう。



川柳・短歌・俳句・詩

庭先の初撮たいも名月に

(佐川支所管内・Yさん73歳)

幸せを分けてたつぷり梨の汁

(佐川支所管内・Hさん70歳)

古希すぎてやっとなスマホで孫先生

(伊野支所管内・Oさん71歳)

